

## 各候補者のプロフィール・マニフェスト



**阿部 守一（あべ・しゅいち）** 61歳 無所属 現職 1960年12月21日生まれ

東京都生まれ。東京大卒業後の1984年（昭和59）年、自治省（現総務省）入省。同省や山口、岩手、神奈川、愛媛県で勤務。2001年1月から長野県企画直長、副知事を務めた。07年に総務省を退職。横浜市副市長、内閣府行政刷新会議事務局次長を経て、10年9月から県知事（2期）。趣味はまち歩き。座右の銘は「行くに径（こみち）に由（よ）らず」（正道を歩み公明正大な様子）、「信なくば立たず」。小諸市塩野（宿舎は長野市県町）。

### 理念

政治家を目指す理由	国と地方、双方の立場で一貫して地方自治に携わってきた経験を活かし、大好きな信州の底力を最大限に引き出したいとの思いです。明日への希望と暮らしの安心に満ちた社会を、県民の皆様との協働で築くため、2010年の知事選に立候補しました。初心を忘れず、県民の皆様のお心に常に寄り添い、信州の未来を創造します。
-----------	---

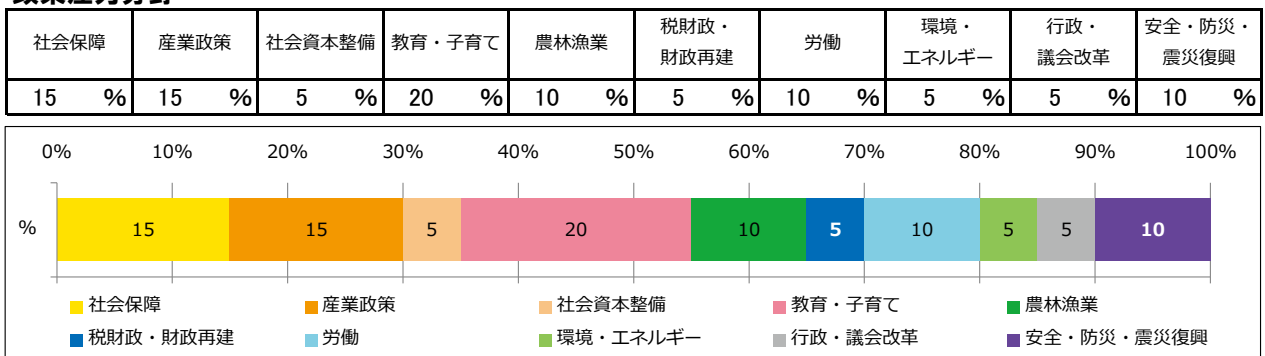
### ビジョン

地域のありたい姿	創造的で持続可能な共生社会です。社会経済環境が大きく変化する中、新たな社会や産業を構築する「創造力」の発揮と、医療・介護や地域交通の充実などによる暮らしの「持続可能性」の確保が、信州発展の基礎だと考えます。また、誰一人取り残さない信州をつくるため、多様性が尊重され、ともに支え合う社会を目指します。
解決したい課題	子どもたちの教育に力を入れ、他に抜きんできた「学びの県」にします。結婚・子育てに対する支援や、子どもの貧困等格差への対策、働き方改革等に取り組むとともに、防災対策の強化、まち・むらづくりの支援等により生活の場を整備します。中小企業や商店街の振興、観光業、農林業等の生産性向上と担い手確保に取り組みます。

### 解決するための重要政策

重要政策(1) - 教育政策 - 子育て支援 - 女性政策	創造的な学びを推進し、多様な学びの場を整備します。幼児教育や特別支援教育の充実、高校改革、県内大学の振興等に取り組みます。多様な保育の受け皿を整備し、子育てに伴う経済的な負担の軽減を図ります。起業・就業の支援や育児・介護と仕事の両立支援、男性の育児・介護への参加促進等により、女性の活躍を支援します。
重要政策(2) - 医療政策 - 地域公共交通の確保 - 防災対策	安心できる医療・介護提供体制を構築するため、健康づくりの推進、医療機関の連携促進、医療・福祉人材の確保や地域包括ケアシステムの確立などに取り組みます。広域的・基幹的な公共交通の存続・充実に努めるなど、地域の移動手段を確保します。災害に強い県土づくりを進め、ハード・ソフト両面で防災対策を強化します。
重要政策(3) - 中小企業政策 - 農業政策 - 観光振興	産業の生産性を高めるため、農業支援体制を再構築します。受注機会や販路の拡大、専業承継支援など、地域経済を支える中小企業を総合的に支援します。農林業の成長産業化と小規模農家等への支援を充実します。滞在型観光地域づくりの推進等による観光消費額の増加に取り組みます。各分野の人材確保や働き方改革を進めます。

### 政策注力分野



## 各候補者のプロフィール・マニフェスト



**金井 忠一（かない・ちゅういち）** 57歳 無所属 新人 1950年上田市生まれ

上田市の農家の長男に生まれ、6歳で父を交通事故で亡くした。母を助けるため、農業をしながら学校に通い、「一人一人の苦労が報われる社会へ」が人生の原点。上田東高校を卒業後、上田市職員として25年間勤務。「もっと市民のお役に立ちたい」と、1995年の上田市議選に立候補して当選。5期19年務め、3000件の切実な生活相談に乗る。県生活と健康を守る会連合会会長。趣味は絵画鑑賞。座右の銘は「継続は力なり」。上田市国分。

### 理念

政治家を目指した理由	幼い頃に父を亡くし、母を助けて農業で働き、市の職員として25年間働いてきた経験から「一人一人の苦労が報われる社会を」と願い、住民の願いに寄り添った温かい政治を実現してお役に立ちたいと思います。平和や暮らしを脅かす国の悪政に立ち向かい、地方から希望を発信していきます。
------------	---

### ビジョン

地域のありたい姿	長寿日本一の豊かな自然に恵まれた長野県で、県内どこでも安心して住み続けることができるよう、格差と貧困をなくし、安定した雇用の確保、災害に強い長野県づくりや公共交通網の整備、子育て環境や介護、医療の充実をすすめ、地域の特色ある取り組みの魅力が発揮される長野県にしたいものです。
解決したい課題	農業や中小企業の後継者不足、人手不足が深刻です。保育園の「待機児童」問題を解決するための保育士確保、介護人材の確保のためにも待遇改善への支援が課題です。特別支援学校の増設や高校での30人規模学級の実施など、「少子化」だからこそその教育環境の整備、公共交通網の整備と生活弱者対策など課題は山積です。

### 解決するための重要政策

重要政策(1) - 教育政策 - 子育て支援 - 障害者福祉	県の給付制奨学金は、所得制限の見直しや給付金の増額を進めます。特別支援学校の過密化解消、トイレ等学校施設の改修、教室へのクーラー設置の促進。子どもの医療費は中学卒業まで通院費無料、500円の負担金廃止。福祉医療も窓口無料に。保育料の軽減、待機児童の解消などの市町村の取り組みを支援します。
重要政策(2) - 医療政策 - 介護支援 - 地域公共交通の確保	国保料（税）の市町村からの法定外繰り入れを認め、県も財政支援します。国保への国庫補助の増額を求めます。入院ベッド数削減の方針を見直し、地域医療を守ります。介護保険料の減免制度の創設、介護職員の待遇改善を進めます。地域公共交通の整備、確保で安心して住み続けられる環境を作ります。
重要政策(3) - 雇用創出 - 農業政策 - 中小企業政策	ブラック企業を根絶し、安定した雇用を創出、拡大します。農業の価格保障・所得補償の充実、県内の優良な種子を生産・普及させるための種子条例の制定を進めます。中小企業の税金や社会保険料などの軽減策を進め、時給1500円の長野県をめざします。暮らしと地域経済に重い負担となる消費税増税に反対します。

### 政策注力分野

